

取扱説明書

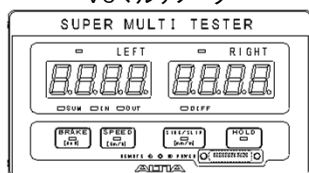
4t V6クワット かんたん操作編

IM-2538

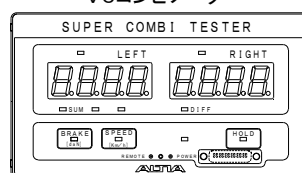
IM-2541

ALBS-03

V6マルチメーター



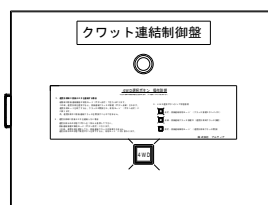
V6コンビメーター



V6クワット赤外線リモコン(付属品)



4WD用前後連結制御盤(オプション品)



取扱説明書が現品と異なる場合は、お買い上げの販売会社までご請求下さい。



警告

製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用下さい。

この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管して下さい。

株式会社 アルティア

1. 4tV6メータクワット仕様設定状態の確認

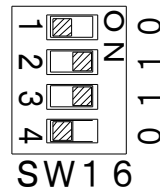
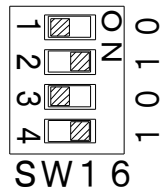
V6メータの電源を切った状態で、下記のディップスイッチの設定状態を確認してください。
もし、設定が違っている場合は、下記の様にディップスイッチを設定してから、電源を入れ直してください。

注意！ 設定は変更しないでください。

※SW16…動作モード`設定

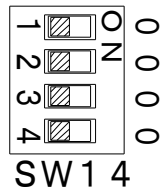
前側マルチ設定方法

後側コンビ`設定方法



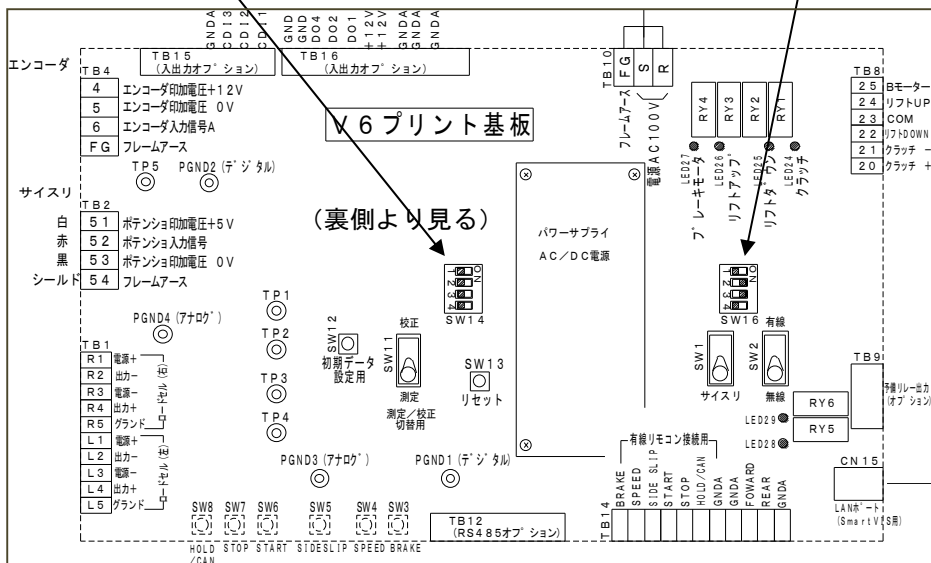
※SW14…システム設定

前側マルチ、後側コンビ共に同じ設定



SW14(システム設定)

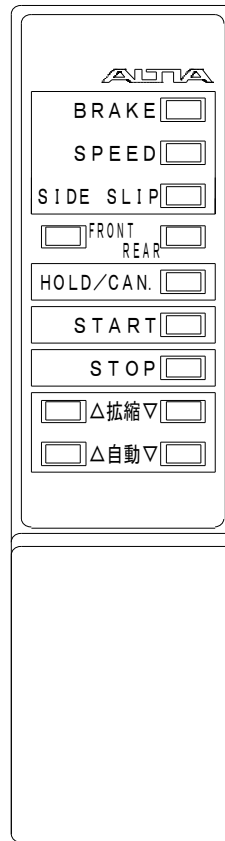
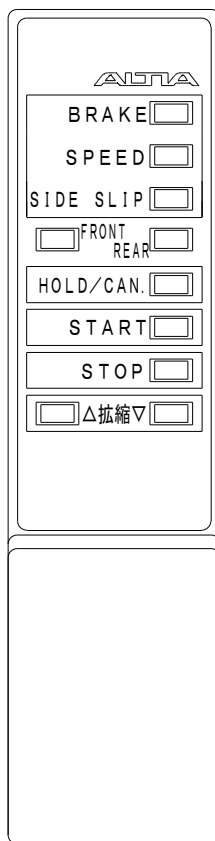
SW16(動作モード設定)



2. リモコンスイッチ(赤外線リモコンスイッチ)

標準品・・・自動拡縮ボタン無し

オプション品・・・自動拡縮ボタン有り



[リモコンボタンの説明]

名 称	機 能
BRAKE	モード変更(ブレーキ測定時選択)
SPEED	モード変更(スピード測定時選択)
SIDE SLIP	モード変更(サイドスリップ測定時選択)
FRONT	前テスト選択
REAR	後テスト選択
HOLD/CAN.	ブレーキ又は、スピードの指示値を保持します。(指示計のホールド表示灯が点灯) BRAKE選択時 ⇒ 最大値を保持(ピークホールド) SPEED選択時 ⇒ 瞬時値を保持 SIDE SLIP選択時 ⇒ 最大値を保持(ピークホールド) (注記！) 正確な指示値を読み込む為、指示が安定した状態で保持してください。 BRAKE,SIDE SLIPは測定前に押してから測定すると測定の最大値を保持します。
START	BRAKE選択時 ⇒ リフト下降、一定時間後ローラが回転 SPEED選択時 ⇒ リフト下降のみ
STOP	BRAKE選択時 ⇒ モーター停止後リフト上昇 SPEED選択時 ⇒ リフト上昇のみ
△拡縮▽	後BSテストをWBに合わせて手動で移動するためのボタンです。押している間移動します。
△自動▽ (オプション)	後BSテストを移動する際に、一度押すと移動し続け、再び押すと停止します。

3. 操作方法

1) 付属のスイッチングハブと前後V6メータのAC100V電源を入れてください。
※注意！ V6メータ電源投入直後ピピッと鳴るまでの間は初期化中に付き、基板上の各スイッチの操作を行うと起動できませんので絶対に行わないでください。

2) 各動力電源AC200Vを入れてください。

- ① 前後コンビテスターAC200V電源
- ② コンビクワット移動装置制御盤AC200V電源
- ③ 4WD用前後連結制御盤(オプション品)AC200V電源

2)-1 暖機運転

指示計裏面の電源スイッチを「ON」にします。
前後V6メータのブザー2回吹鳴し、LED等が消灯した状態(待機状態)になります。
リモコンの「FRONT」ボタンを押して前コンビテスタを選択します。
次に [START] スイッチを押して下さい。
前後リフト下降して、前後ローラー共に回転します。
この状態のまま、指示計及びローラを5分以上暖機します。
前後コンビテスタ及び前後V6メータの暖機が同時に行うことができます。
※前V6メータのみ制動力表示しますが問題ありません。
特に冬場の寒い時期(気温が10℃以下)には必ず暖機運転して下さい。
※暖機運転後に、簡易ゼロ調整を行う場合は、次頁をご参照下さい。

↓

暖機運転終了後は、[STOP] スイッチを押して停止して下さい。

3) 操作方法

3)-1 サイドスリップ測定

- ① サイドスリップテスタを操作するために、
リモコンの「FRONT」ボタンを押して前V6メータを選択します。
前V6メータの左セグメントに“FRONT”を表示した後、右セグメントに“————”
を表示します。この時、前V6メータの操作が有効になったことを表します。
- ② サイドスリップテスタによるサイドスリップ測定
リモコンの「SIDE SLIP」ボタンを押して、車両でテスターに乗り込んで、
測定を行ってください。(詳細はサイドスリップテスター専用取扱説明書を参照ください)

3)-2 車両乗り入れ及びWB合わせ

- ① 前輪を前側コンビのリフト上に合わせて乗り入れる。
- ② 移動装置を操作するために、リモコンの「REAR」ボタンを押して後コンビテスタを選択します。
後V6メータの左セグメントに“REAR”を表示した後、右セグメントに“————”
を表示します。この時、後V6メータの操作が有効になったことを表します。
- ③ 「△拡縮△」ボタンで、後側コンビテスタを車両のWBに合わせて移動してください。
「△」拡大、「▽」縮小 です。押している間だけ移動します。
- ④ オプションの「△自動▽」付きリモコンを使用すると、
一度「△」を押すと拡大移動し続け、再度「△」を押すと停止します。
同じく、一度「▽」を押すと縮小移動し続け、再度「▽」を押すと停止します。

3)-3 前コンビテスターによる測定(4WD用前後連結装置なしの場合)

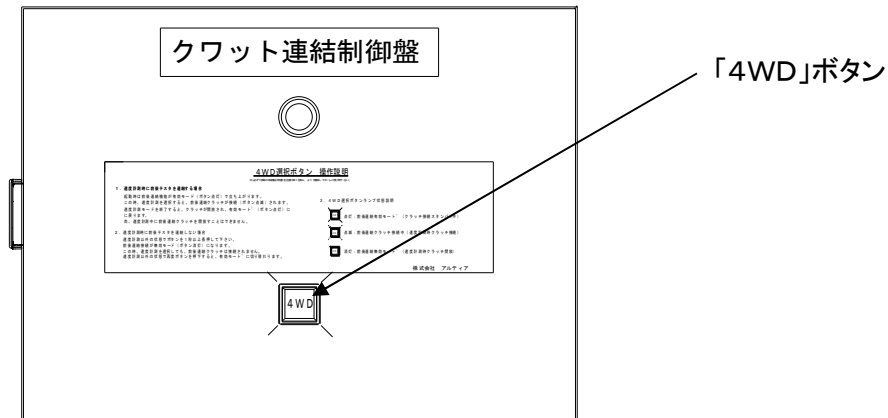
- ① 前コンビテスターを操作するために、
リモコンの「FRONT」ボタンを押して前コンビテスタを選択します。
前V6メータの左セグメントに“FRONT”を表示した後、右セグメントに“————”
を表示します。この時、前V6メータの操作が有効になったことを表します。
- ② 前コンビテスターによるBS測定
リモコンの「BRAKE」または「SPEED」ボタンを押して、
BS測定を行ってください。(詳細はコンビテスター専用取扱説明書を参照ください)

3)-4 後コンビテスターによる測定(4WD用前後連結装置なしの場合)

- ① 後コンビテスターを操作するために、リモコンの「REAR」ボタンを押して後コンビテスタを選択します。後V6メータの左セグメントに“REAR”を表示した後、右セグメントに“———”を表示します。この時、後V6メータの操作が有効になったことを表します。
- ② 後コンビテスターによるBS測定
リモコンの「BRAKE」または「SPEED」ボタンを押して、BS測定を行ってください。(詳細はコンビテスター専用取扱説明書を参照ください)

3)-5 4WD用前後連結装置付きの場合の“SPEED”測定 (オプション品)

- ① 電源立ち上げ時、4WD用前後連結装置制御盤上の「4WD」ランプが点灯します。この時、前後いずれかのV6メータで、「SPEED」が選択されると、「4WD」ボタンが点滅して、前後連結クラッチが入ります。



- ② 2WD車など前後連結を行う必要のない場合は、「SPEED」測定モード以外で、「4WD」ボタンを1秒以上長押しして消灯してください。この場合は、「SPEED」を選択しても前後連結を行いません。
- ③ 再度、「4WD」ボタンを1秒以上長押しすると、また、「4WD」ランプが点灯して、前後連結が有効になります。
- ④ 4WD用前後連結装置制御盤 // 面の操作説明コーションステッカー

4WD選択ボタン 操作説明

※必ず付属の取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用下さい。


1. 速度計測時に前後テスタを連結する場合


起動時は前後連結機能が有効モード(ボタン点灯)で立ち上がります。
この時、速度計測を選択すると、前後連結クラッチが接続(ボタン点滅)されます。
速度計測モードを終了すると、クラッチが開放され、有効モード*(ボタン点灯)に戻ります。
尚、速度計測中に前後連結クラッチを開放することはできません。


2. 速度計測時に前後テスタを連結しない場合

速度計測以外の状態でボタンを1秒以上長押しして下さい。
前後連結接続が無効モード(ボタン消灯)になります。
この時、速度計測を選択しても、前後連結クラッチは接続されません。
速度計測以外の状態で再度ボタンを押下すると、有効モード*に切り替わります。

3. 4WD選択ボタンランプ状態説明

 点灯：前後連結有効モード* (クラッチ接続スタンバイ中)

 点滅：前後連結クラッチ接続中 (速度計測時クラッチ接続)

 消灯：前後連結無効モード* (速度計測時クラッチ開放)

4. 校正方法

1) 簡易校正方法

1)-1 準備

一次電源(100、200V)及びエアを供給して下さい。

1)-2 暖機運転が必要な場合は実施して下さい。(3. 操作方法 2)-1暖機運転を参照)

1)-3 ブレーキ簡易ゼロ調整----**注意！ 車両をローラーに載せないこと！**

- ① スイッチングハブおよび前後V6メータの電源スイッチを「ON」にします。
リモコンの「FRONT」ボタンを押して前V6メータを選択します。
[START]スイッチを押して下さい。
前後リフト下降して、前後ローラー共に回転します。
現在の前コンピテスタの制動力が前V6メータに表示されます。
この数値が0でない場合には、
[HOLD/CAN]スイッチを押して、その状態を0点に修正し記憶されます。
このスイッチは、何度でも有効です。押す度にゼロ調整を行います。
(ローラー回転が安定したところで、[HOLD/CAN]スイッチを押してください。)

- ② そのまま、後コンピテスタの簡易校正を引き続き行ってください。
「REAR」ボタンを押して後V6メータを選択します。
現在の後コンピテスタの制動力が後V6メータに表示されます。
この数値が0でない場合には、
[HOLD/CAN]スイッチを押して、その状態を0点に修正し記憶されます。
このスイッチは、何度でも有効です。押す度にゼロ調整を行います。
(ローラー回転が安定したところで、[HOLD/CAN]スイッチを押してください。)
※必ず、前後の簡易校正①②を行ってください

2) 定期校正方法 (注意！ 定期校正はお客様で行うことは出来ません。)

**※注意！ 校正作業は、前後一度に行うことは出来ません。必ず、個別に行ってください。
(校正したい方だけ、SW11を校正側にして校正をおこなうこと。)**

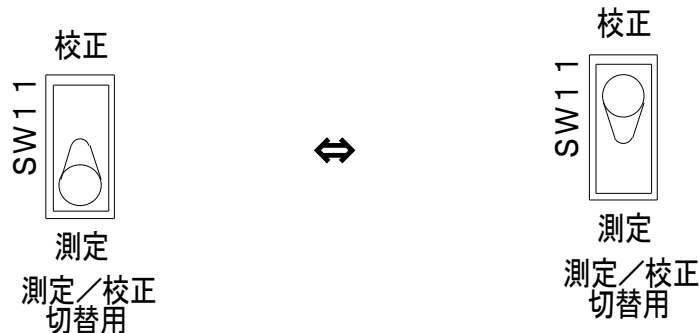
(手順)

○スイッチングハブおよび前後V6メータの電源スイッチを「ON」にします。

○前V6メータの校正(後V6メータのSW11は、測定側にしてください。)

①前V6メータの

測定/校正切替用スイッチSW11を校正側に切り替えることにより定期校正ができます。
**尚、定期校正は弊社支店にて定期的に行いますので、お客様にて行うことは
できません。実施しないでください。**

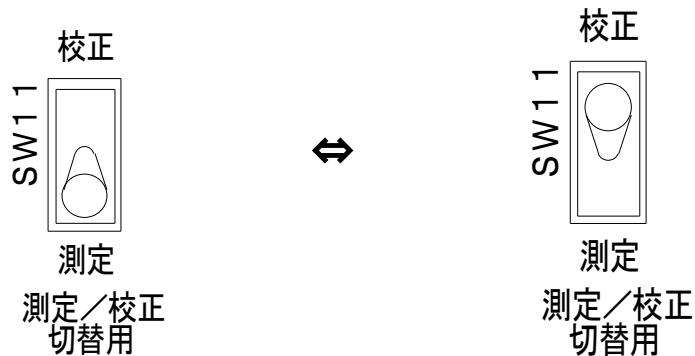


※注意・・・赤外線リモコンは、前V6メータ側の受光になりますので、前V6メータに向けて行ってください。

- ②校正が完了しましたら、
測定／校正切替用スイッチSW11を測定側に戻してください。
前V6メータの校正が完了しました。

○後V6メータの校正（前V6メータのSW11は、測定側にしてください。）

- ①後V6メータの
測定／校正切替用スイッチSW11を校正側に切り替えることにより定期校正ができます。
**尚、定期校正は弊社支店にて定期的に行いますので、お客様にて行うことは
できません。実施しないでください。**



**※注意・・・赤外線リモコンは、後V6メータ側の受光になりますので、後V6メータに
向けて行ってください。**

- ②校正が完了しましたら、
測定／校正切替用スイッチSW11を測定側に戻してください。
後V6メータの校正が完了しました。

以上

取 扱 説 明 書

品 名	4t V6クワット かんたん操作編
商品番号	IM2538、IM2541、ALBS-03
型 式	

初版発行年月	令和 2年 6月 2日
--------	-------------

改訂発行年月	令和 3年 5月 25日
--------	--------------

改訂発行年月	令和 5年 3月 2日
--------	-------------

改訂発行年月	
--------	--

編集兼発行者	設計開発部
--------	-------

発 行	株式会社アルティア
-----	-----------

無断複写・掲載を禁ず

製造・発売元 株式会社アルティア